

アンケート調査報告(速報)

2024年7月30日

【無作為抽出アンケート】

1. 実施の概要

【調査対象】

- ・ 住民基本台帳から無作為抽出により満 15 歳以上の男女 2,500 人を抽出

【調査方法】

- ・ 郵送配布、留置後、郵送又はインターネット上の回答フォームより回収

【調査時期】

- ・ 2024年6月14日(金)～2024年7月12日(金)

※7月3日(水)にお礼状兼督促ハガキを送付。

※本報告においては、紙回収は7月19日(金)、WEB回収は7月24日(水)回収分までを集計対象としている。なお、最終報告にてどこまで含めるかは検討中。

【回収状況】

- ・ 969票/2,500票 (回収率:38.8%)

※重複回答と思われる3サンプルを集計対象外としている。

2. 速報における留意事項

- ・ できるだけ多くのサンプルを集計対象とすることを優先しており、個票のロジックチェックを後回しにしている部分がある。例えば、図表 16 は無回答の割合が大きいですが、この中には図表 15 の設問で1つの選択肢のみ選び、図表 16 は無回答であった人が含まれる。最終的には、図表 16 においてもその1つ選択した選択肢に振り分ける修正を行う予定のため、数値が変わる可能性がある。

3. 調査結果概要

(1) 回答者属性

- ・ 回答者属性は「資料 1 の 2」のとおり。なお、年代別の回答方法は以下のとおりであり、若年層において WEB からの回答割合が高くなった。



(2) 地域との関わり

- ・ 近所付き合いは挨拶をする程度という人が多いが、「地域」に対して愛着を感じるという割合（「愛着を感じる」「どちらかといえば愛着を感じる」の合計）は 83.5%、「地域」との関わりについての今

後の意向でポジティブな回答（「関わりたい」「どちらかといえば関わりたい」の合計）をした割合は 53.1%であった。

- ・ 「地域」をよりよくする観点から関心のあるテーマを尋ねたところ、「災害対策・防災活動（53.4%）」「地域防犯・治安に関する活動（51.6%）」の割合が特に高かった。

(3) 地域コミュニティ活動への参加状況について

- ・ 現在参加している人は 15.1%であり、「以前参加していたが今は参加していない」人と「これまで参加したことがない」人の割合が合計 82.2%と高い。
- ・ 現在参加している人の参加団体は「有志・趣味・自己啓発等のサークル・グループ（25.1%）」や「スポーツ団体（15.2%）」の割合が高く、防災・防犯に係る団体への参加は多くない。また、参加団体における課題として、「メンバーが高齢化している（28.7%）」「メンバーが固定化している（25.1%）」を挙げる割合が高い。
- ・ 現在参加していない人の理由については、「参加のきっかけがない（43.2%）」「生活が忙しく時間がない（40.6%）」の割合が高い。
- ・ 今後関心のあるテーマとしては（現在の参加有無に限らず全員が回答）、「有志・趣味・自己啓発等のサークル・グループ（45.0%）」「子ども・若者への支援団体（子ども食堂・おやこひろばなど）（21.9%）」の割合が高い。
- ・ 地域コミュニティ活動に参加しやすくなるためにあるとよい条件について、「負担が大きくなり参加できる（43.3%）」「参加しやすい曜日や時間帯への配慮がある（35.3%）」の割合が高い。

(4) コミュニティセンターについて

- ・ コミュニティセンターを「知っており、最寄りのコミュニティセンターもわかる」人が 77.1%、地域住民によって運営されていることを知っている人が 59.5%であった。
- ・ コミュニティセンターを利用したことがある場合、普段利用する際の人数で多いのは「10～19 人（24.0%）」と「1人（20.9%）」、利用頻度で多いのは「年に 1 回以下（40.4%）」「年に数回程度（33.0%）」である。
- ・ 運営委員又は協力員としてコミュニティセンターの運営に携わったことのある人は 6.7%で、現在関わっているのは 2.4%であった。
- ・ コミュニティセンターを利用したことがない、あるいはあまり利用していない理由としては、「利用するきっかけがない（56.7%）」「何をやっているか／何ができる施設か知らない（23.8%）」の割合が高い。
- ・ コミュニティセンターに求める機能・役割については、「同じ関心を持った人と幅広いつながりができる（31.8%）」「気軽に集える場所がある（30.3%）」「地域のイベントなど、地域の情報を得ることができる（28.7%）」を求める割合が高い。
- ・ コミュニティセンターに求める空間や設備として、「予約なしに一人でも過ごせる場所がある（38.7%）」「地域の防災拠点となる場所・設備がある（34.9%）」「大勢の人が集まることのできる場所がある（31.6%）」の割合が高い。1 人利用、集団利用いずれも期待されているとうかがえる。

【利用者アンケート】

1. 実施の概要

【調査対象】

- 各コミュニティセンター施設の利用者

【調査方法】

- 各コミュニティセンター施設内で調査票を配布、配布先施設内で回収又はインターネット上の回答フォームより回収

【調査時期】

- 2024年6月14日(金)～2024年8月上旬 ※未定
 ※本報告においては、紙回収は7月17日(水)受領分、WEB回収は7月24日(水)回収分までを集計対象としている。なお、調査終了日は検討中。
 ※施設改修工事に伴う休館のため、西部コミュニティセンター及び緑町コミュニティセンターは7月上旬までの回収となっている。

【回収状況】

- 2,475 票

2. 速報における留意事項

- 各館の回収票数は以下のとおりである。

吉祥寺東	本宿	吉祥寺南町	御殿山	本町	吉祥寺西	吉祥寺北	けやき
196	215	48	164	401	33	50	162
中央	西久保	緑町	八幡町	関前	西部	境南	桜堤
205	272	120	90	162	41	201	58

- 各コミセンでの回収数が異なるため、特にサンプル数の少ないコミセンの結果の読み取りには留意が必要である。加えて、無作為抽出配布ではないため、回答者の属性に偏りがある場合がある。

3. 調査結果概要(全体の読み取り)

(1) 回答者属性

- 回答者のうち、女性が62.4%、男性が26.5%であった。また、小学生1.4%、中学生1.0%、高校生2.9%、中学卒業後高校進学していない10代0.8%、20代2.2%、30代4.8%、40代8.5%、50代10.3%、60代14.5%、70代28.4%、80代以上14.9%であった。
- 住まいは武蔵野市内が64.9%、武蔵野市外が24.8%であった。

(2) コミュニティセンターの利用状況等

- 利用頻度について、「月に2～3回(32.8%)」「月に1回くらい(21.8%)」の割合が高い。
- 利用する要件について、「趣味(33.4%)」「会議(29.3%)」「運動(18.1%)」の割合が高い。
- 利用人数について、「6～9人」「10～19人」と比較的集団で利用される場合が多い。
 ※無作為抽出アンケートの傾向と異なるが、これはコミセン団体利用の際に、積極的に利用者アンケートの調査依頼を行っているためではないかと思われる。
- コミセン主催・共催の行事に参加したことがある割合は47.1%と半数程度で、そのうち(他の行事も含めて)また参加したい(「参加したい」「どちらかといえば参加したい」の合計)と答えた割合

は 78.3%であった。

- ・ コミセンが地域住民によって運営されていることを知っている割合が 81.7%であった。

(3) コミセンの運営に対する思いやニーズについて(利用者評価)

- ・ 以降で、肯定的な評価をしている割合を示す。なお、いずれの設問も「どちらかともいえない」あるいは「普通」をはさんで 5 段階評価となっている。
 - 質問、問い合わせなどに適切に対応しているか：適切 59.6%、どちらかといえば適切 21.7%
 - 事業内容や利用応報など情報が伝わっているか：そう感じる 29.7%、どちらかといえばそう感じる 35.6%
 - 公平に利用できるように心がけて運営されていると思うか：そう思う 54.6%、どちらかといえばそう思う 24.6%
 - 利用者の意見を行事や運営に反映してくれていると思うか：そう思う 33.4%、どちらかといえばそう思う 32.4%
 - コミセンの使いごち：よい 52.3%、どちらかといえばよい 20.0%
- ・ コミセンはどんな場所であることが望ましいと思うかについて、「同じ関心を持つ人とのつながりができる (50.5%)」「誰もが気軽に集える場所がある (45.2%)」の割合が高い。

以 上